

Stage6

Body Invaders

体内への侵入者

作・ジェーン・ペンローズ

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントがみつかります。
- ・細菌ってなに知っていますか。細菌についてどんなことを知っていますか？
- ・この本からどんなことを知りたいですか。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだして行ってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

different さまざまにことなった

healthy 健康な

spread 広げる

cough せき

medicine 薬

breathe 吸い込む

fight たたかう

properly 適切に

[p. 1]

体内への侵入者

目次

体内でのたたかい	p.2
細菌との出会い	p.4
細菌はどうやって侵入するか	p.6
細菌はどんなことをするか	p.8
体は抵抗する	p.10
お医者さんをお呼び	p.12
勝つために洗おう！	p.14
用語集	p.16

作・ジェーン・ペンローズ

[p. 2]

体内でのたたかい

みなさんは水ぼうそうになったことがありますか。水ぼうそうは細菌から感染します。細菌はとても小さな生き物で、みなさんを病気にすることがあります。

みなさんの体には、毎日たくさんの細菌が侵入してきます。健康でいるために体は細菌とたたかいます。

[p. 3]

<この男の子は水ぼうそうにかかっています。>

[p. 4]

細菌との出会い

ことなる細菌は、ことなった病気の症状をもたらします。

「風邪をうつしてあげるよ」

<風邪>

[p. 5]

「水ぼうそうをうつしてあげるよ」

<水ぼうそう>

「吐き気をあげるよ」

<吐き気>

[p. 6]

細菌はどうやって侵入するか

みなさんの皮ふは、たいていの細菌の体内侵入をくいとめてくれます。でも……

1. 空気中にいて、みなさんが呼吸をすると体内に入ってくる細菌がいます。

<くしゃみは細菌をまきちらします。>

[p. 7]

2. 口から飲み込まれる細菌がいます。

<細菌は、古くなった食べものや、ちゃんと調理されなかった食べものにそだちます。>

<みなさんの手には細菌がいます。食事の前には手を洗わなければいけません。この手の写真は、細菌のいるところが白くなっています。>

3. 傷口から入り込む細菌がいます。

<傷口にはかさぶたができます。かさぶたは細菌が入りこむことをくいとめます。>

[p. 8]

細菌はどんなことをするか

細菌は体内に入ると、もっとたくさんの細菌をつくります。

<これは病原菌です。>

[p. 9]

この細菌は毒をつくりだします。

この毒が気持ちを悪くさせます。

<細菌>

<毒>

<胃>

[p. 10]

体は抵抗する

みなさんの体は、いろいろなやり方で細菌とたたかいます。

1. ある種の細胞は、細菌にくっついて細菌を止めます

<細菌>

<細胞>

2. ある種の細胞は、細菌を食べてしまいます。

<細胞>

<細菌>

[p. 11]

3. ある種の細胞は、傷をふさいでしまいます。

<細菌はふさがった傷には入り込めません。>

<細菌>

<傷>

<細胞>

4. 細菌とたたかっているとき、体は熱をもちます。

<発熱は、体が細菌とたたかっていることをしめしています。>

[p. 12-13]

お医者さんと呼ぼう

お医者さんは、侵入した細菌と体がたたかうのを手伝うことができます。

お医者さんは、細菌を殺す薬をくれることがあります。

[p. 14]

勝つために洗おう！

細菌の侵入をふせぐいちばんいい方法をあげます。

1. せきやくしゃみをするときはティッシュペーパーを使おう。

2. 食事の前に手を洗おう。

[p. 15]

3. あんまり古くなったり、ちゃんと調理されてない食べものは食べるのをよそう。

4. 傷は清潔にしてばんそうこうをはろう。

5. トイレに行ったあとは手を洗おう。

[p. 16]

用語集

細胞 生きていてすべてのもののうちで、いちばん小さなもの

発熱 病気で体がとても熱くなること

健康な 病気ではないこと

侵入する 攻撃すること

侵入者 攻撃する人

毒 体に危害をもたらしたり、病気にするもの

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・病気になったことを覚えている？ どんな感じがした？
- ・細菌についてどんなことがわかった？
- ・この本は気に入った？ それはどうして？

この本をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。同級生に手を洗うことを思いださせるポスターを描いてもいいですね。